

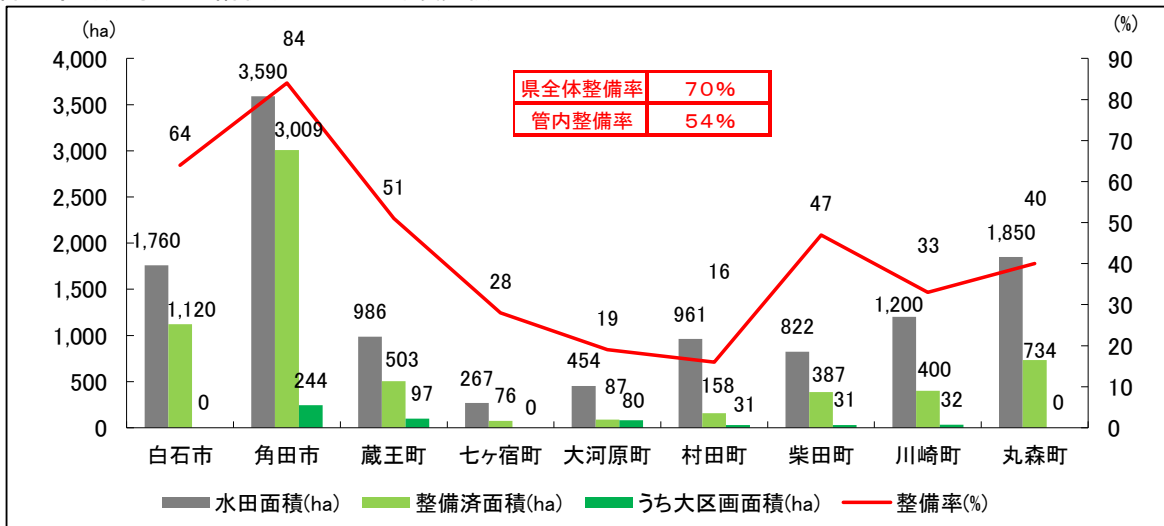
13 農村整備

仙南地域における水田の整備状況は、角田市などを中心に約6,500haが整備済みであるが、県全体の整備率70%に比べ54%と、気仙沼を除く県内6管内で最も低い状況である。現在は柴田町、川崎町、七ヶ宿町などで農地整備事業が計画・実施されており、更に整備率が低い大河原町と村田町でも全町域の事業化に向けて動きだしている。

また、農業水利施設は、約7割が標準耐用年数を超過している状況であり、計画的な機能診断や保全対策が求められており、基幹的農業水利施設では、16施設で保全対策に着手済み(うち完了4施設)である。

日本型直接支払制度の多面的機能支払は、管内農振農用地面積の38%で取り組んでおり、県全体の61%と比べ低い状況となっている。一方、中山間地域等直接支払の活動面積は、県全体の活動面積の約4割と高い状況となっている。

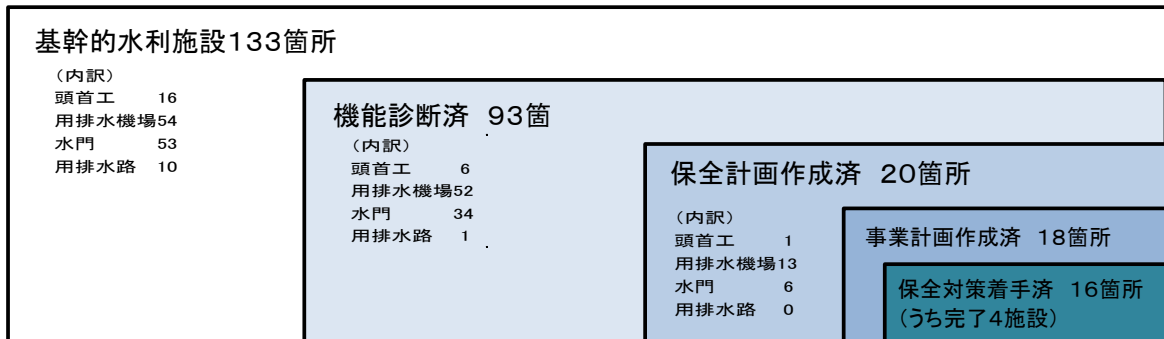
◆管内市町別水田整備状況(平成29年度実績)



※整備済み面積とは1区画が20a以上、うち大区画とは50a以上(畦畔除去後を含む)に整備された面積としている。

※東日本大震災津波被災地域の整備済み面積は参考扱い。水田面積はH22の数値(震災前)である。

◆管内基幹的農業水利施設の状況



※基幹的水利施設とは、受益面積A=100ha以上の農業用の用排水機場や水門等(ダムを除く)のこと。

◆日本型直接支払制度における各交付金の実施状況(平成29年度実績)

市町名	①農振農用地面積(ha)	多面的機能支払			中山間地域等直接支払	
		組織数	②面積(ha)	カバー率(②/①)	協定数	③面積(ha)
白石市	1,999	17	387	19%	8	130
角田市	3,613	38	2,051	57%	4	58
蔵王町	1,653	9	309	19%	-	-
七ヶ宿町	484	6	220	45%	6	209
大河原町	572	5	127	22%	-	-
村田町	1,869	5	575	31%	-	-
柴田町	799	13	646	81%	-	-
川崎町	1,548	7	370	24%	2	33
丸森町	3,014	39	1,278	42%	26	557
管内計	15,551	139	5,963	38%	46	987
県全体	119,674	992	73,237	61%	231	2,271

※①農振農用地面積はH23の数値。②面積は認定農用地面積を記載。③面積は交付対象面積を記載。